

病児室だより

R1年8月第3号



連日気温の高い日が続いています。暑い日が続くと食欲が落ちたり、汗を多くかいたり体調を崩すことも多くなってきますね。こまめに水分補給や休息を取り、暑い夏を乗りきりましょう！夏は、汗を多くかき痒みが出たり、虫に刺されたり肌のトラブルが増える時季でもあります。そこで、今回はとびひなどについて紹介したいと思います。

とびひについて

とびひは、医学的には伝染性膿痂疹と言って細菌が原因の皮膚感染症です。

・原因

主な原因は黄色ブドウ球菌です。黄色ブドウ球菌は鼻の中にいつも存在する常在菌で誰もが持っている菌です。

健康な肌についても害はないですが、傷ついた肌に感染する事でとびひになります。

・症状

あせもや湿疹、虫刺され、アトピー性皮膚炎などを掻き壊した傷口や擦り傷に原因菌が感染して、強い痒みのある水疱ができます。水疱の中の浸出液には感染力が強い菌が含まれています。水疱には痒みがある為、掻き壊し膜が破れ、その手で他の部分を触る事で水疱が広がります。

・治療

とびひは感染力が強いので、水疱が少ないうちに治す事が大切です。患部はガーゼや包帯で覆い、早めの受診がお勧めです！

※プールは、かさぶたが取れるまでは入らない方が良いでしょう。患部をしっかりと覆い、他に感染しないようにしましょう。

予防のポイント

毎日のスキンケアで肌の清潔を保ちましょう。

シャワーで1日1回は石鹸を泡立て、洗い掻き壊しでの悪化を防ぐため、爪は短く切り傷は保護し清潔に保ちましょう。感染力が強いのでタオルの共用は避けましょう。



手足口病について



流行のピークを過ぎ、終息に向かっていますが、改めて手足口病に関して紹介をしていきたいと思えます。

この病気の特徴はご存じの通り、手足や口の中・下などの周囲が赤くて真ん中が白い米粒大の水疱が出来る事です。

手足の水疱は痛みがないのがほとんどです。口の中の水疱はやぶれて強い痛みを伴う潰瘍になるため、食欲が落ちたりします。

生活の注意点

・食事 口腔内の痛みの為食事が摂れない時は、口あたりの良いプリンやゼリー、栄養のあるスープを与えましょう。何回かに分けて少しずつ与えるのがコツです！

また、水分も取りにくくなるため、脱水にならないように注意しましょう。

・入浴 あまり、ゴシゴシとこすると水疱が破けてしまい化膿する事があるので、汗を流す程度が良いです。

・当園 学校で予防すべき感染症に含まれておらず、規定の出席停止がありません。本人の体調を考え、医師や園、学校の判断に従うのが望ましいでしょう。

※回復後も口(呼吸器)から1~2週間、便から2~4週間にわたってウイルスが排出されるのでこまめな手洗い・咳エチケットを！

おすすめ！

虫に刺された、かゆい！！という経験ありますよね。そんな時におすすめ。痒いところへセロハンテープを貼るだけ！痒みはあっという間に止まります。掻きむしった後効果は無いようですが、ぜひ試してみてください！



6月・7月・8月の利用状況

6月=8名利用
・プール熱、風邪など
7月=29名利用
・手足口病、風邪など
8月23日現在9名利用
・風邪、扁桃炎など

特定非営利活動法人 オープンハウスこんぺいとう
病児室 TEL0233-29-2301